

令和元年度 奈良県知事賞

「身近なところで使われている税金」

奈良県立榛生昇陽高等学校 一年 市川 瑠唯

私が税金を支払っているのは消費税だけです。大人になるとたくさんの種類の税金を支払うと親から聞きました。お給料をもらう前に初めから引かれている税金や納付書が届いて支払う税、買い物のたび支払う消費税など何にでも税がついてくると聞きました。子供でも消費税が上がると困るのに大人はもっと大変なんだなぁと思いました。私は限られたお小遣いの中で買い物をするしかないので消費税が8%から10%になるのはとても嫌です。これから先、いったい何%まで上がるのかとても気になります。

昭和は消費税がなく平成元年から3%として始まり、平成10年には5%、平成26年4月から8%、令和元年10月には、食品（外食・酒類を除く）は8%の税率を維持するそうですが、それ以外は10%に引き上げられるそうです。収入が増えていないと税金ばかり上がっては生活が大変になると思います。

税の種類はたくさんあり、今の私には理解することは難しいですが、私達の身近なところで税金として納められたお金は使われていると知りました。

病院で支払っている医療費も税金が助けてくれているから3割で済んでいるそうです。他にも学校から申請書類をもらって出した高等学校等就学支援金制度など税金の使いみちは国会で審議したうえで決められているそうです。

世界の消費税をみていると、デンマークやスウェーデンなどは25%と日本よりもずいぶん高いことに驚きました。近くの国で見ると中国が17%で韓国は10%なのに対し日本は今、8%で、10月に10%に一部を除いて上がります。消費税の高い国はたくさんあるので10%になっても不満は言えないなぁと感じました。消費税が高い国は社会保障もずいぶん充実していることも知りました。

日本のため、私達の生活のために税は使われ、助けられているということを知れば税を納める大切さに気付きます。支払うだけでなく、私達の生活の中で私達を支えるものになっているということを理解することが大切だと感じました。税金の使われ方を知ることによって助け合って生きていくことを実感することでしょう。

今はまだ、消費税しか払っていない私ですが、これから先、働いて納める税金によって、よりよい社会になっていく貢献ができると思うと初任給から支払う税金や車を持つことで支払う税金にも意味のあることだと納得して払うことができると思います。

税について、税金の使われ方を今まで考えることがなく、消費税が上がるのは嫌だな、なんで払うんだろうと思っていた私でしたが、子供の私でも支払っている消費税で社会に少しでも貢献できていることがわかり嬉しく思いました。国民が納めた税金を正しく無駄のないように使ってもらいたいと思います。